作成日: 2017 年 08 月 01 日

改訂日: 2019 年 04 月 01 日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : RISO INK Ftype HG RED

（RISOインク Fタイプ HG レッド）

製品コード : S-6925

会社名 : 理想科学工業株式会社

住所 : 東京都港区芝 5-34-7 田町センタービル

担当部門 : 環境活動推進部

電話番号 : 029-889-2527

FAX 番号 : 029-889-2530

整理番号 : RFHI002J-02

推奨用途及び使用上の制限 : 孔版印刷機用インク

専用機種以外に使用しないこと

2. 危険有害性の要約

GHS 分類区分 : 急性毒性（経口） 区分外

皮膚腐食性/刺激性 区分外

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分外

皮膚感作性 区分外

吸引性呼吸器有害性 区分外

水生環境有害性（急性/慢性） 区分外

上記以外の項目は分類対象外もしくは分類できない

GHS ラベル要素 : なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分及び含有量

化学名	CAS No.	含有率（%）
石油系炭化水素	64742-46-7	1-10
米ぬか油	68553-81-1	5-15
グリセリン	56-81-5	1-10
赤顔料	登録済	非開示
アルキド樹脂	登録済	非開示
水	7732-18-5	非開示

4. 応急措置

吸入した場合 : 吸入する可能性はきわめて少ないが、もし、印刷中に臭い等で気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にする。

皮膚に付着した場合 : 水及び石鹸又は皮膚用洗剤を使用して十分に洗い落とす。

眼に入った場合 : 直ちに清浄な流水で十分に洗う。

飲み込んだ場合 : 吐かせずに様子を見る。異常があれば、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水、二酸化炭素、泡、消火粉末、乾燥砂

特有の消火方法 : 上記の消火剤が有効である。
インクは発火源にはならないが、火中において燃える可能性がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 作業には可能な限り保護具を着用する。

保護具及び緊急時措置 : 手袋、眼鏡、マスクなどを使用する。
土嚢などで漏出範囲の拡大を防ぐ。

環境に対する注意事項 : 下水、排水、河川等に流出しないように注意する。

回収 : 吸収剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。

7. 取扱及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 換気の良い場所で取り扱う。

注意事項 : 容器のままの状態で取り扱う。

安全取扱い注意事項 : 移し替え等をせずに専用容器で保管する。

保管

適切な保管条件 : 子供の手の届かないところに保管する。

安全な容器包装材料 : 移し替え等をせずに専用容器で保管する。

8. 曝露防止及び保護措置

管理濃度 : 製品としての設定なし

許容濃度 : 製品としての設定なし

成分	日本産業衛生学会	ACGIH TLV
鉱油(ミスト)	3mg/m^3	TWA 5mg/m^3
グリセリン(ミスト)	設定されていない	TWA 10mg/m^3

設備対策 : 通常の場合、換気が良好であれば十分である。

保護具 : 通常使用の場合、必要なし

9. 物理的及び化学的性質

色・形状	:	赤色ペースト
臭い	:	わずかな特異臭
融点	:	＜ 0 ºC
沸点	:	＞ 100 ºC
引火点	:	なし（セタ密閉式）
密度	:	1.00～1.10 g/cm^3 （23℃）
溶解度	:	（水）： 不溶、 （その他）： 知見なし
n-オクタノール/水分配係数	:	情報なし
自然発火温度	:	＞ 400℃

10. 安定性及び反応性

安定性	:	通常の保管及び取扱いの条件において安定
反応性	:	特記すべき反応性なし
避けるべき条件	:	直射日光・高温

11. 有害性情報

急性毒性	:	経口 ラット LD_{50} ＞ 2000mg/kg*
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	:	ラビット 軽刺激*（OECD Guidelines No.404）
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	:	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	:	情報なし
生殖細胞変異原性		
生体外変異原性試験	:	Ames 試験 陰性*（OECD Guidelines No.471）
発がん性	:	下記の発がん性物質リストに記載されているヒトに対して発がん性物質や疑いのあるものは使用していない。 IARC／NTP／OSHA／ACGIH／CLP 規則／日本産業衛生学会
生殖毒性	:	情報なし
特定標的臓器毒性･全身毒性	:	情報なし
吸引性呼吸器有害性	:	ペースト状で粘度が高いため吸入リスクは十分に低い

*原材料情報及び類似製品の試験結果からの予測

12. 環境影響情報

水生環境有害性	:	情報なし
残留性・分解性	:	情報なし
生体蓄積性	:	情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物・汚染容器・包装 : 国、都道府県及び市町村等自治体の関連法規及び条例に従い処理する。
容器の材質はポリプロピレン(PP)と高密度ポリエチレン(HDPE)である。
シールの材質は金属を含むプラスチックである。

14. 輸送上の注意

国際規制 : 非該当

国内規制 : 非該当

15. 適用法令

労働安全衛生法

第 57 条 名称表示物質 : 鉱油(石油系炭化水素)

第 57 条の 2 通知対象物 : 鉱油(石油系炭化水素)

毒物及び劇物取締法 : 非該当

特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律 : 非該当

消防法 : 非危険物

16. その他の情報

主な引用文献

・Organisation for Economic Co-operation and Development (OECD:経済協力開発機構)

・IARC Monographs on the Evaluation Carcinogenic Risk to Humans (WHO.IARC:国際癌研究機構)

・National Toxicology Program(NTP) Report on Carcinogens (NTP:米国・国家毒性プログラム)

・Occupational Safety and Health Administration (OSHA:米国労働安全衛生局)

・TLVs and BEIs (ACGIH:米国産業衛生専門家会議)

・1272/2008 Classification, Labelling and Packaging of substances and mixtures (CLP 規則:分類表示包装規則)

・許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

記載内容は現時点で入手出来る資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。